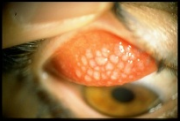
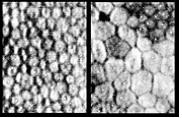


視力矯正方法の比較一覧表

	眼鏡	コンタクトレンズ	iDesign iLASIK	ICL
				
説明・特徴	基本的な視力矯正方法	眼に直接レンズを装用し視力矯正を行う。	レーザー手術で角膜の形状を変化させ視力矯正を行う外科的治療。近視、不正な乱視まで矯正可能	手術で目の中に小さなレンズを入れ視力矯正を行う外科的治療。
メリット	● 手入れが簡単 ● 装用時間の制限が少ない	● (メガネと比べ)歪みが少なく裸眼に近い見え方 ● 強度近視・強度乱視の矯正可能。 ● 左右差がある方でも矯正可能。 ● 外見が変わらない。	● 裸眼で生活ができる。 ● 痛みがない。 ● メガネ・CL で矯正不可な歪みを矯正可能。 ● 術後、生活やスポーツにほぼ制限がない。 ● 手入れが要らず、災害時等にも困らない	● 裸眼で生活できる。 ● -6D以上の強度近視・強度乱視を推奨。 ● 見え方のクオリティが高い ● 術後、生活やスポーツに制限がない。 ● 手入れが要らず、災害時等にも困らない。
デメリット	◆ 視野が狭い ◆ 手入れや紛失等、災害時に非常に不便。 ◆ スポーツ時や入浴時、悪天候時には装用困難 ◆ 強度近視の矯正に向かない。 ◆ 視力に左右差のある方には向かない。	◆ 装用時間に制限があり、使用方法によっては眼に障害が発生する可能性がある。 ◆ 手入れや紛失等、災害時に非常に不便。 ◆ ドライアイの人は装用が困難。 ◆ 長期間装用で角膜内皮に悪影響の可能性がある ◆ 手入れ不足により、感染症の危険性がある。	◆ 手術後、一時的にドライアイの症状が出る場合がある。 ◆ 手術後稀に、一時的なコントラストの低下や、ハロ、グロア現象が現れる可能性がある。 ◆ 夜間になると視力が低下する可能性がある。 ◆ 強度近視・強度乱視は不適応。	◆ 一時的に支払う治療費が高額である。 ◆ 内眼部手術であり、非常に稀だが白内障等、術後重篤な合併症を起こす可能性がある。
コスト（両眼）	2～5万円（1本あたり）	1Day 6万4000円（税込）＋検査費用（年） 2Weeks（レンズ＋ケア用品） 3万6000円（税込）＋検査費用（年）	23万円	70万円
医師からのコメント	基本的な矯正方法ですが、汚れや湿気で曇ったり、スポーツや生活に制約があったりします。また紛失・破損等に不便などといったデメリットがあります。	正しい取扱いを行えば裸眼に近い見え方が得られますが、使用方法を誤ると、重篤な障害が発生する可能性があります。また長期間の装用で角膜内皮細胞にも悪影響があります。装用時間や手入れには十分注意が必要です。 コンタクトのトラブル例  レンズの汚れによるアレルギー症状  長期装用による角膜内皮細胞への影響  アカンタアメーバーによる角膜炎	的確な適応判断を行えば、安全に視力の改善が望める視力矯正方法です。特に iDesign iLASIK では見え方の質やコントラスト感度低下の抑止が期待できます。 iDesign iLASIK による夜間視力の改善  通常のレーシックのイメージ  iDesign iLASIK のイメージ	LASIK より適応範囲が広く強度近視や強度乱視でも矯正可能です。価格が高いのがネックです。